

浩然

「ふるさとを愛し 自他を大切に
たくましく未来を拓く生徒の育成」
香美町立村岡中学校通信
No. 7 2018. 9. 4 (Tue.)

全力挨拶・全力行進・全力校歌・全力疾走…

「猛暑」「炎暑」「酷暑」「命に危険を及ぼす暑さ」…、平成最後の夏は、これまでに使われなかった暑さを表現する言葉が、報道番組や新聞の見出しを飾った夏となりました。

この記録的な暑さの中で、多くの生徒たちが部活動や補充学習、体育祭の準備、地区行事等に積極的に取り組んでくれました。何より、生徒たちが大きなケガや病気をすることなく新学期を迎えてくれたことにほっとしています。ただ、毎年9月初めは、自宅で過ごした生活リズムを学校生活に切り換えるしんどさを伴う新学期となります。ご家庭でも子どもたちの学校生活のリズムづくりと体調管理にご協力をお願いします。

さて、この夏は、第100回の全国高校野球大会やメダルラッシュのアジア大会など、スポーツの話題で盛り上がりました。中でも、甲子園で2度目の春夏連覇を達成した大阪桐蔭高校の選手たちの全くぶれない、野球や勝利に対する気持ちの強さはもちろん、準優勝の秋田県立金足農業高校の大活躍、特に勝利のあとの校歌を全力で歌う姿が印象に残っています。(実は、千葉県木更津総合高校の全力校歌も有名です。一昨年はこちらの方が話題でした。)
「全力プレー」「全力校歌」に代表されるように、全力で何かに打ち込んでいる姿は、見る人の心を揺さぶります。あれほど純粋に、思いのこもった校歌はなかなかありません。ある意味、うらやましくも感じました。その歌っている姿からは、学校に対する「愛情」や「誇り」を感じます。地元の人たちによると「金農の子たちは、



(8/18 射添芸能大会・吹奏楽部)

ふだんからすばらしい子たちだ。道で会っても、必ず立ち止まってしっかりあいさつをしてくれます」とおっしゃっていたのが心に残っています。ふだん、いい加減な態度や姿勢なら、彼らはあそこまで地元の人たちに受け入れられ、応援してもらえたでしょうか？ 日々、前向きに真っ直ぐに頑張っていることが、プレーや校歌、全力疾走やお辞儀の仕方にまで見え、伝わったからこそ、全国の人たちにも応援してもらえたのではないのでしょうか？



(デコ製作に励む！)

また、多くの選手たちのインタビューも印象に残ります。「仲間や家族に感謝しています」というような、仲間や家族、応援して下さった人の気持ちを力に変えることが出来たということが数多く聞かれました。学校でも同じだと思います。仲間が頑張っている姿をみて自分も頑張れる。お互いに励まし合い、指摘し合うことのできる集団であれば、自分も仲間も切磋琢磨できる関係になるのだと思います。学級でも部活動でも、そして、学校全体でもさらにそんなことを目指しましょう！

2学期は気候的に夏、秋、冬の三つの季節をまたぐ長い4ヶ月間となります。体育祭、文化祭、

音楽会などの行事を経て、生徒たちも学級、学年、そして「チーム村中」の一員としての自覚や、高い自己有用感を感じることが出来る学期となります。3年生にとっては、進路の実現を目指した大切な学期ともなります。それぞれの行事や自らの目標実現に向けた取り組みの中で、生徒一人ひとりも、また村岡中学校も大きく成長できる4ヶ月にしたいと思っています。

本年度は、村岡中学校統合10周年の記念の年です。昨日の始業式で言った「自分なりのいい節」を作ってください。文も武も心も成長する2学期にしましょう。(文責:才田 寛)

田中くん 全日本卓球選手権大会(カデットの部)へ！！

夏休み中に、卓球協会主催カデットの大会が行われ、1年生の田中瑠紀くんが但馬大会優勝、県大会でも準優勝し、見事全日本大会への出場を決めました。全国大会は、11月に宮城県仙台市で行われる予定です。健闘を祈ります。

また、田中くん以外にも5人が但馬大会で上位入賞し、県大会に出場しましたが、惜しくも全国切符を逃しました。この悔しさを新人戦に！

運動・文化面の活躍

【全日本卓球選手権 カデットの部 但馬地区大会】(8/7~8 豊岡市総合体育館)

◎男子1年シングルス 優勝 田中 瑠紀 県大会進出
準優勝 今岡 功貴 県大会進出
ベスト8 輪違 裕斗 県大会進出

◎男子2年シングルス 第3位 小谷 欣葵 県大会進出

◎男子ダブルス 優勝 田中 瑠紀・西坂優也(豊岡北中) 県大会進出
第3位 福井 峻・中村駿汰(村岡小) 県大会進出

◎女子2年シングルス 第3位 今岡 未貴 県大会進出

【全日本卓球選手権 カデットの部 兵庫県大会】(8/26・9/1 加古川市立日岡山体育館)

◎男子1年シングルス 準優勝 田中 瑠紀 全国大会進出(宮城県)

今岡 功貴 2回戦惜敗
輪違 裕斗 1回戦惜敗

◎男子2年シングルス 小谷 欣葵 2回戦惜敗

◎男子ダブルス 第5位 田中 瑠紀・西坂優也(豊岡北) 全国大会進出
福井 峻・中村駿汰(村岡小) 1回戦惜敗

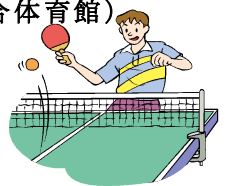
◎女子2年シングルス ベスト32 今岡 未貴 2・3回戦勝利 4回戦惜敗

【因幡・但馬ジオパーク地域交流陸上競技対抗選手権大会】(8/11 鳥取市布施陸上競技場)

☆男子1500m競走 第9位 南垣 斗磨(3年) 4'41"72

【但馬中学生からのメッセージ2018】(8/25 県立但馬長寿の郷)

☆但馬中学校長会長賞 中尾 優心(3年) 「最後の握手」



第10回体育祭開催!

〈H30 体育祭スローガン〉

『勇猛果敢～勝利をつかめ 村中パワー～』

日時:平成30年 9月8日(土) 9:15開始

*延期の場合は、9月10日(月)に開催

場所: 村岡中学校グラウンド

*準備期間が少ない中ですが、精一杯がんばります。

保護者・地域の皆様、多数のご来校をお待ちしております! ありがとうございました!



PTA奉仕作業



